

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先)川崎市長

郵便番号 210-0801
 住 所 川崎市川崎区鈴木町1番2号
 氏 名 味の素ファインテクノ株式会社
 代表取締役社長 中村茂雄

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	味の素ファインテクノ株式会社		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市川崎区鈴木町1番2号		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者(任意提出事業者)		
主たる事業 の種類	大分類	E	製造業
	中分類	16	化学工業
主たる事業 の内容	電子材料、機能材料の開発、製造、販売		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	1,764	kl
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成28年度～平成30年度（報告年度平成30年度分）
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備考	

備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。

2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。

3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。

4 ※印の欄は記入しないでください。

5 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあっては、その代表者)が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況(第1号、第2号、第4号該当者等)

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況(排出係数固定)

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 2,610 t-CO ₂ (調) 2,610 t-CO ₂	(実) 2,789 t-CO ₂ (調) 2,789 t-CO ₂	(実) 2,759 t-CO ₂ (調) 2,759 t-CO ₂	(実) 2,668 t-CO ₂ (調) 2,668 t-CO ₂	(実) 2,689 t-CO ₂ (調) 2,689 t-CO ₂
削減率		(実) -6.9 % (調) -6.9 %	(実) -5.7 % (調) -5.7 %	(実) -2.2 % (調) -2.2 %	(実) -3.0 % (調) -3.0 %

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の 活動量	生産量		単位	t-CO ₂ /ton	
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量 原単位等の値	5.590	4.922	4.442	4.098	5.262
削減率		11.9 %	20.5 %	26.7 %	5.9 %

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	特定建築物、冷凍冷蔵倉庫、試験研究設備の増加によりエネルギー使用量が増加したが、生産量が順調に推移したため原単位は下がった。
第2年度	エネルギー使用量は増加傾向にあるものの、生産量が順調に推移し、夏季に工場の改修にともなう長期間の停止があったため、使用量、原単位ともに下がった。
第3年度	生産量が増加したこと、工場の改修により停止していたため、エネルギー使用量、原単位ともに減少した。3年間通して見ると、生産量増加でエネルギー消費量が増加したが、それ以上に原単位は改善できた。

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況(全社目標)

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、第2号、第4号該当者等)	計 画	①空調設備更新検討 ②コンプレッサー最適化 ③フロン機器更新
	第1年度	空調冷水ポンプを省エネインペラーに交換 コンプレッサーに流量計を設置し使用量を把握
	第2年度	スチームトラップの点検と修理 一部工場空調の夜間休日リサイクル運転 老朽化コンプレッサーをインバータ機に更新 一部建屋の照明点灯時間について、設定を見直して消灯時間を長くした 一部研究施設の照明をLED化
	第3年度	スチームトラップの点検と修理を実施した。 新設エアコンをマルチ型とした。 エアコンプレッサーを台数制御できるようエアラインを改造した。 老朽化したエアコンプレッサーを更新した。 外灯を更新、LED化、時間設定と人感センサーを設置した。
自動車等 (第3号該当者等)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	なし

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	①事務用品などのエコ商品購入を推進する。 ②省エネキャンペーンを実施する。 ③従業員に環境教育を実施する。
第1年度	①エコ商品購入を継続した。 ②6月の環境月間にあわせて実施した。 ③エネルギー使用状況について年2回実施した。
第2年度	①エコ商品購入を継続した。 ②6月の環境月間にあわせて実施した。 ③エネルギー使用状況を月次集計、年2回従業員に周知徹底した。
第3年度	①エコ商品購入を継続した。 ②6月の環境月間にあわせて実施した。 ③エネルギー使用状況を月次集計、年2回従業員に周知徹底した。

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績(排出係数反映)

(1) 事業者単位

ア 第1号、第2号、第4号該当者等

(実)	2,684	t-CO ₂
(調)	2,684	

イ 第3号該当者等

(実)		t-CO ₂
(調)		

(2) 事業所等単位(第1号、第2号該当者等)

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
味の素ファインテック株式会社	川崎市川崎区鈴木町1番2号	1639	その他の有機化学工業製品製造業	2,684 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500kl 未満	
300～400kl 未満	
200～300kl 未満	
100～200kl 未満	
100kl 未満	

(3) 事業所等単位(第4号該当者等)

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量(二酸化炭素換算)が 3,000t以上(二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。)の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量(二酸化炭素換算)が 3,000t未満(二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。)の事業所の数

事業所数	
------	--